

# 東京いー散歩

担当教員名 後藤 彌彦

## 1 コースの概要

|      |                  |
|------|------------------|
| 日 程  | 2014年9月2、4、9、11日 |
| 場 所  | 東京官庁街、下町、山の手     |
| 参加人数 | 14名              |

## 2 コースの目的

現在の東京は、徳川家康の江戸の街作り、明暦の大火後の川向こうへの拡大、明治の地区改正、大正の関東大震災、戦後の焼け野が原からの復興を経て形作られた。これらを念頭に置いて、江戸と東京の歴史的・文化的遺産、河川、都市の緑を訪ね、東京の成り立ちと都市づくりに際して環境と防災の観点が大切であることを学習し、今後の都市環境、都市の緑等を考えることが目的である。

## 3 事前学習

配付資料とビデオにより、東京の都市形成の歩みを学ぶ。

ビデオは、上野寛永寺、明暦の大火と回向院、震災復興、ヒートアイランドに関するものである。

さらに、予習に必要な参考書が紹介される。

## 4 行程

### 1日目

地下鉄虎ノ門駅に集合し、琴平神社、霞が関ビルを経て、昭和初期の官庁計画による旧文部省ビルで旧大臣室などを見学する。次ぎに国会、国会前庭、桜田門など遠望しながら、明治の官庁集中計画による旧法務省庁舎の中の法務資料展示室を見学する。農林水産省食堂で昼食ののち、日比谷図書館（千代田区の都市形成に関する展示）、日比谷公会堂をみてから、日本初の西洋式庭園である日比谷公園を散策した。

### 2日目

地下鉄清澄白河駅に集合し、深川江戸資料館で江戸の暮らしを学んだのち、清澄庭園を訪ね、大名屋敷から富豪の邸宅を経て現在は都市の緑の拠点となる歴史を学ぶ。パン工場での昼食の後、隅田川に沿って散策、気象緩和など都市における川の働きを考えながら、清洲橋などの景観を楽しむ。終わりに明暦の大火に関係

する回向院を訪ねた。

### 3日目

JR 上野駅に集合し、上野公園から不忍池を経て、旧岩崎庭園でコンドル設計の明治期の洋館建築を見学する。東大構内を散策し、東大赤門や昭和初期の校舎建築をみるとともに昼食をとる。菊坂で樋口一葉の足跡を訪ね、水道歴史館で江戸から現在にいたる水道を学び、終わりに震災小公園元町公園を訪ねた。

### 4日目

JR 王子駅に集合し、音無親水公園を経て徳川吉宗以来江戸東京庶民の花見の場であった飛鳥山公園を歩く。隣接する渋沢栄一の屋敷跡を訪ね、西ヶ原一里塚をへて旧古河庭園で和洋の調和した庭園を散策する。女子栄養大学食堂で昼食ののち、染井の里、染井墓地を経て、西ヶ原ふれあい公園へ向かう途中で風雨が激しくなり、切り上げることにした。

## 5 事後学習

関東大震災からの復興に関する後藤新平のビデオでおさらいしながら、FS の印象について意見交換する。



旧文部大臣室にて



旧岩崎庭園にて